

令和2年度 農山漁村振興交付金(山村活性化対策) 事業実施主体 評価結果

1. 事業評価の実施

令和2年度に実施された農山漁村振興交付金(山村活性化対策)の事業について、「農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領」(平成30年3月28日付け29農振第2261号農林水産省農村振興局長通知)の第9の1の(1)の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 評価結果

都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階			評価	評価コメント
			R1	R2	R3		
静岡県	静岡市	オクシズ「漆の里」協議会	●	●	□	A	<p>本事業は、静岡市の中山間地域「オクシズ」に位置する振興山村6地区において「漆」生産という新たな産業に着手することで、所得向上、雇用拡大、景観保全などの課題の改善を図る基盤を整備する。また市内の国宝・重要文化財の修復、伝統工芸、地場産業の振興に結びつく事業を推進することを目的とする。</p> <p>漆生産の振興と新たな地域資源としての定着を図る本事業実施に関し、令和元年度には、多くの調査検討項目と事業ロードマップが設定された。令和2年度には①地域資源の賦存状況・利用形態等の調査、②地域資源活用のための合意形成・組織づくり・人材育成、③地域資源の消費拡大や販売促進・付加価値向上等を図る取り組みが行われた。一部でコロナ禍により未実施となった項目もあるが、実施内容に関する成果目標は達成されたと考えられる。次年の最終年度は、今後の目標の達成に向けて活用計画に基づいて、着実かつ適切な取り組みの実行が求められる。</p>

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ○・・交付対象年度(計画) ●・・交付対象年度(実施済) □・・目標年度(計画) ■・・目標年度(実施済)

(注2) 「評価」の区分: A・・優良 B・・良好 C・・低調

3. 第三者の意見聴取

農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領の第9の1の(1)の規定に基づき、第三者である松井 一晃から評価に当たり意見の聴取を行った。第三者及び意見聴取の概要は以下のとおり。

【第三者】

松井 一晃

【意見聴取の概要】

大学時代の研究及び卒業後の官公庁委託業務等により、静岡北部山間部での自然・文化歴史関係の調査研究実績が数多くあり、本地域の基礎知識を持たれている。令和2年度の報告書を提示し、また口頭での説明を行い意見聴取を行った。